

指名及び入札状況閲覧簿（決定）

案件番号	0000001060	業種区分	建設工事
業種	土木一式	詳細業種	
工事番号及び工事名	下水工第5号 法川排水区雨水排水路新設工事（その2）		
工事場所	福知山市 蛇ヶ端 地内		
工事期間	自 平成29年10月6日 ～ 至 平成30年3月26日		
入札方法	条件付一般競争入札	契約方法	総価契約
入札・見積日	平成29年9月29日 9時00分 電子入札	落札方法	価格競争
概要	吐口工 N=一式 雨水排水路工 L=9.4m 附帯工 N=一式 最高予定価格 35,144 千円（税抜） 最低制限価格 30,885 千円（税抜）		

項番	企業名又は委任先名	1回目 入札価格（円） （評価値）	2回目 入札価格（円） （評価値）	3回目 入札価格（円） （評価値）	4回目 入札価格（円） （評価値）	5回目 入札価格（円） （評価値）	備考
1	株式会社赤井土木	30,947,000					—
2	株式会社アシダ組	30,958,000					—
3	株式会社芦田産業	31,042,000					—
4	岩田建設株式会社	30,900,000					—
5	加藤建設株式会社	30,928,000					—
6	株式会社門野組	30,942,000					—
7	岸下建設株式会社	31,625,000					—
8	公正産業株式会社	30,900,000					落札（くじにより決定）
9	河守工業株式会社	31,041,000					—
10	三丹開発株式会社	30,955,000					—

項番	企業名又は委任先名	1回目 入札価格(円) (評価値)	2回目 入札価格(円) (評価値)	3回目 入札価格(円) (評価値)	4回目 入札価格(円) (評価値)	5回目 入札価格(円) (評価値)	備考
11	世紀建設株式会社	30,932,000					—
12	株式会社西部建設	30,970,000					—
13	セイリョウ建設株式会社	30,940,000					—
14	瀬戸内建設工業株式会社	31,558,000					—
15	創生建設株式会社						辞退
16	株式会社高尾組						辞退
17	株式会社高見組	30,917,000					—
18	大栄工業株式会社	30,962,000					—
19	大永産業株式会社	31,131,000					—
20	大立工業株式会社	31,015,000					—
21	中小路建設株式会社	31,080,000					—
22	西田工業株式会社	30,909,000					—
23	株式会社能見土建						辞退
24	ヒガシ・エンタープライズ株式会社	31,157,000					—
25	株式会社富士興業	30,927,000					—
26	前田工業株式会社	30,918,000					—
27	株式会社ミノベ	30,878,000					失格(最低制限価格未滿)
28	メイコー建設株式会社	30,924,000					—
29	森下建設株式会社	30,930,000					—
30	株式会社ヨネダ	30,960,000					—

下水工第5号 法川排水区雨水排水路新設工事（その2）

契約の相手	名 称	公正産業株式会社
	住 所	福知山市夜久野町額田633-1

契約金額 (消費税及び地方消費税を含む)	33,372,000 円	最高予定価格(税込)	37,955,520 円
		最低制限価格(税込)	33,355,800 円

条件付一般競争入札	当該資格	(1) 平成29年度福知山市建設工事指名競争入札参加資格者名簿で「土木一式」のA1等級及びA等級に登録されている者のうち、福知山市内に本社又は本店を有するものであること。 (2) 建設業法の基準を満たす技術者を当該工事に専任で配置できること。
	参加させなかった者、その理由	なし
指名競争入札における指名理由		
随意契約の相手方の選定理由		

第1回変更契約	変更額	0 円	変更契約日	平成30年3月23日
	変更工期	平成29年10月6日	～	平成30年3月31日
	変更理由	他工事との調整により、工期を延長する。		
第2回変更契約	変更額	△ 983,880 円	変更契約日	平成30年3月31日
	変更工期	平成29年10月6日	～	平成30年4月27日
	変更理由	掘削箇所より不明廃棄物が出たため処分を行う。推定岩盤線が低い位置に出たため、置き換え土量の変更を行う。掘削土が流用土として利用が困難なため、良質土埋戻しに変更する。施工工程の再検討により、河川側からの施工となりBOX取合部の仮設土留工の必要が無くなったため一部を廃工とする。河川内の堆積土砂が著しく、護床ブロックとのすり付けが出来ないため浚渫を行う。現場精査により数量等の変更を行う。他機関との調整が必要なため、工期の延長を行う。		